

対応状況報告書

大 学 名： 三重大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和6年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○地域イノベーション学研究科（博士後期課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。 【地域イノベーション学研究科（博士後期）：1. 31倍】
対応状況	・地域イノベーション学研究科（博士後期課程）：1. 27倍（令和2年度～令和6年度平均）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に関して、令和4年3月2日開催の地域イノベーション学研究科教授会において今後の対応を検討した結果、コロナ禍等の影響による一過的な志願者増である可能性をも検証するため、令和5年度以降の志願状況及び実入学者数を見極めた上で、入学定員増を視野にいて適正化を検討することとした。 令和5年12月21日開催の地域イノベーション学研究科教授会にて、令和5年度及び令和6年度見込みの志願者数等が現在の定員に対して妥当な範囲で推移していることから、入学定員増は図らず適正な定員管理を継続していくことを確認した。 令和5年度は入学者6名、令和6年度は入学者5名であり、入学定員充足率は令和2年度～令和6年度の5年平均で1. 27倍となった。 【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2（抜粋）

（注）

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。

3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。